

あなたの事務所をDXへといざなう、本誌から一冊の「招待状」

FIVE STAR MAGAZINE

士業専門誌

2021.01 60

年間購読/年間6冊・30,000円(税別・送料込)
発行/LIFE & MAGAZINE 株式会社
○本誌は以下の事務所にお届けしています
税理士、司法書士、弁護士、行政書士、社会保険労務士
など(購読者の多い順)

NOTHING IS

impossible

You're invited

2021年、

DX ジャーニー への「招待状」

渾身の7つの Report !

- [1] 作業のDX:RPA編
- [2] コミュニケーションのDX:ビジネスチャット編
- [3] 提供サービスのDX:クラウド化編
- [4] ドキュメントのDX:ペーパーレス編
- [5] 入力業務のDX:AI-OCR編
- [6] 所内システムのDX:SFA編
- [7] 業務環境のDX:仮想デスクトップ編



DX

: 仮想デスクトップ編

業務環境のDXを一気に実現する、「最強」の手段

本リポートで最後にご紹介したいのは、「仮想デスクトップ」環境の構築だ。これは、聞きなれない方も多いかもしれない。

仮想デスクトップはその環境を構築する方法によって2つの種類に分けられ、それぞれ「VDI (Virtual Desktop Infrastructure)」と「DaaS (Desktop as a Service、ダース)」と呼ばれる。環境を実現する方法論は異なるが、機能は同じ。自社やデータセンターに置いたサーバーを利用して、仮想デスクトップを実現するのが、VDIであり、クラウドサービスを利用して、サーバーを持たずに仮想デスクトップを実現するのが、DaaSである。

この技術は、日本ではメガバンクなどの金融業界で10年ほど前から取り入れられてきた。もともとは金融機関などにおいてデータを漏洩させない、持ち出させないためのセキュリティ対策として採用されてきた技術。それが今、リモートワークの広がり、再び脚光を集めている。

現在、注目を集めている理由は、仮想デスクトップを導入することによって、企業が業務環境の「一元管理」をできる点にある。ネットワークからサーバーやクラウド上にあるデスクトップ環境にアクセスすれば、どこでも、どの端末でも、同じ環境で作業ができる。それが、おおよその「一元管理」機能のイメージだ。

この仮想デスクトップ環境を、自事務所で構築し、さらに他事務所への導入支援も行っているのが、サン共同税理士法人（東京都

港区、朝倉歩）。そして、その技術面でのパートナーが、インサイドセールスを中心に法人営業の改革をサポートし、2018年にはマザーズへの上場を果たしているブリッジインターナショナル株式会社（東京都世田谷区、吉田融正）の榎本純一氏（クラウドビジネス推進部・部長）。榎本氏は、同社の独立プロジェクトとして、DXやクラウド化などIT全般のコンサルティングを行っている。本リポートは、両氏への取材を元に作成した。

仮想デスクトップについて、サン共同税理士法人の朝倉氏は、

「仮想デスクトップのメリットは、インターネット環境さえあれば、どのパソコンからでもいつでもどこでも同じ状態でパソコン作業ができる点にあります。予備のPCや自宅PCなどにログインIDとパスワードを入力するだけで

DX 支援サービス

経理 DX 支援

<https://tax-startup.jp/rpa-consulting/>

サン共同税理士法人では100年先も存続できる会計事務所を目指して、「IT×人材」に力を入れております。全国の会計事務所様とも日々情報交換を行っておりますので、経理DX支援や経理人材紹介支援にご興味ある会計事務所様は是非下記までご連絡を頂ければ幸いです

●経理DX支援についての詳細は、HPをご覧ください
「サン共同RPA」で検索、または
<https://tax-startup.jp/rpa-consulting/>

SERVICE LINE-UP

- 経理人材紹介サービス
「サン共同在宅経理」で検索、または <https://san-kyodo.jp/zaitaku-keiri/>
- サン共同事務所見学会
「サン共同見学会」で検索、または <https://tax-startup.jp/rpa-consulting/kengaku/>
- M&A支援サービス
「会計事務所M&A相談室」で検索、または <https://zeimukeiei.jp/manda/>

お問い合わせ先

サン共同税理士法人

TEL 03-3572-5831 (平日 9:00 ~ 18:00) MAIL contact@san-kyodo.jp

同じ環境で作業できるようになるので、パソコンを持ち歩かなくてもよいのは本当に便利です。

また、ログイン管理ができるため、各スタッフがそれぞれのローカルで作業するよりも、セキュリティ対策面でも安全です。

さらに、ローカルのパソコンをひとつひとつセットアップする手間がかかりませんので、弊事務所のように人材採用に積極的な事務所で、スタッフが増えていく事務所にとって大きなメリットがあります。

V D I はサーバーを購入し、『VMware Horizon』などの仮想化ソフトウェアを使って仮想化する必要がありますので、インシヤルコストは100万円単位でかかります。

弊事務所は数年前からV D I も導入していますが、これから選択するのであれば、V D I ではなく、DaaS が良いと思います。DaaS なら一般のクラウドサービスのようなランニングコストで始められるので、安価に利用開始できます。※仮想デスクトップで使用する各ソフトウェアは、運用方法に合わせてライセンスの購入を行い、規定に合わせた運用を行う必要があります。

DaaS を利用するメリットについて、ブリッジインターナショナル株式会社の榎本氏が補足する。

「DaaS はパートスタッフや外部リソースを使いたいときに、例えば1か月単位など、スポットで利用することも可能です。中には時間単位で課金するプランもあります。

料金はパフォーマンスによって変動しますが、月1台で数千円程度から利用できます。

現在はテクノロジーが変化するスピードがどんどん早くなっていますので、1年先にどのように技術が変わっているか分かりません。そうした意味でも、DaaS を

利用する方が良いと思います」

「もう、後戻りはできない」

すでに20ほどの事務所へ導入支援を行っているという両者の仮想デスクトップ導入の取り組み。その中には、一人事務所もあれば、100名規模の事務所も含まれているという。

仮想デスクトップ環境があれば、これまでTheme [1] から Theme [6] で伝えてきたD Xの壁を突破することが容易になるのは間違いないだろう。

導入している事務所の動機も、はたして同様の理由だろうか。

「私が知る限り、ほとんどの大手会計事務所では現在、V D I を使用していますし、大手会計事務所を退職して独立した一人会計事務所が、同じV D I を使って仕事をしたいというケースもありました。一人弁護士事務所でも導入するケースもあり、大手事務所だけではなく、小規模事務所向けのV D I 導入支援のご依頼が増えているように感じています。

一概には言えませんが、私たちは同業者のD X化を支援する中でさまざまなご相談をいただきますが、そうした方たちは、D Xを全くしていなかったり、I T技術や知識についてまったく知らなかったりするわけではなく、むしろそうした方は少ない印象です。すでに一定レベルのD X化は行った上で、そこからさらに高みのレベル求めて、様々な技術を探しているように思います」(朝倉氏)

すでにD X化された環境で、ビジネスを行ってきた人材ならば、もはやそうではない環境に後戻りはできない。今さらパソコンのない環境で仕事はできないということと同じことなのだろう。

「V D I だけでなく、ビジネスチャットやトリプルモニターなどもそうですが、一度便利な環境を味わってしまうと、今よりも不慣れた環境には戻れません。その感覚を持つこと自体が、効率化・D X化ができているということの証だと思います」(朝倉氏)

榎本氏が前述しているように、テクノロジーの進化はますます速まっている。これからも便利な環境やツールがどんどん生み出されていくだろう。今、こうしたテクノロジーはどのような方向に向かっているのだろうか。

榎本氏がそれを説明する。

「現在は、各パソコンに搭載されているC P Uが、ローカルで情報処理を行っています。それが近い将来には、情報処理はローカルではなくネットワーク上のデータセンターで行うようになっていきます。端末は演算結果を表示するだけのものになっていきます。

こうした考えは『エッジコンピューティング』と呼ばれていますが、概念としては今回の仮想デスクトップと同様のものです。中央集中で処理は一括で行う方が、効率的です。

すでにゲーム系のサービスでは、こうしたエッジコンピューティングの利用が始まっています。世の中はこうした方向へと動いています」(榎本氏)

それならば、世の中全体がそうした方向に変わってから対応すれば良いと考える向きもあるかもしれない。しかし、はたして「そのとき」からの対応で追いつくことができるだろうか。それは甚だ心もとない――。

デジタルの動きはますます加速している。こうした動きに乗り遅れないためにも、せめて情報のキャッチアップだけは怠らないようにして、流れに合わせたD Xへの変化を少しずつでも行ってほしい。■ (レポートおわり)